

1. 日陰地での植栽

建物の陰のみならず、ウォールなどの構造物、既存樹木などの影響も考慮する必要がある。北側であっても開放的な場所であれば、建物の色に影響されるが、反射光がある程度期待できるので、比較的いろいろな樹木が植えられる。上からの若干の光しか期待できないビルの中庭などでは植栽は難しい。

また、高木の下はさらに厳しい条件となるので耐陰性の高い植物を選択する。



・開放的な北側角地のツバキとイロハモミジ



・反射光のある北側の庭



・ボイドとなっている中庭の植栽(シマトネリコ)



・2階建ての中庭(カクレミノとタマリユウ)

2. 耐陰性の極めて弱い樹木・植物

コウライシバなどでは生育期間は最低4時間以上の日照が必要で、花木や果樹は日当たりが悪い場合には花芽の形成が少なく、花や実付が悪くなるので注意する。

また、樹木の下は灌木や地被植物は耐陰性のある植物を選ぶ必要がある。

＜表1＞耐陰性の極めて弱い樹木・植物(生育時に4～5時間の日照時間が必要)

常緑中高木	アカマツ、クロマツ、カラマツ、タギョウショウ、ユーカリノキ等
落葉中高木	シラカバ、クリ等
地被植物	ノシバ、コウライシバ、ヒメコウライシバ等

3. 耐陰性が強い樹木・植物と生育照度

＜表2＞耐陰性が強い樹木・植物(日陰地でも生育できる植物)

生育照度	樹木・植物
300LUX	(グランドカバー・地被類) ナギイカダ、サルココッカ、ハラン等
500LUX 以上	(常緑中高木) カクレミノ、サザンカ、ヤブツバキ、ヒイラギモクセイ、ヒイラギ、ヒサカキ、ヒメズリハ、モチノキ、ヤブニッケイ等
	(常緑低木) アオキ、センリョウ、ハマヒサカキ、ヒイラギナンテン、ヒイラギ、マンリョウ、ヤブコウジ、ヤツデ、マホニア・コンフューサ等
	(グランドカバー・地被類) オモト、カンスゲ、コグマザサ、シマカンスゲ、シャガ、タマリユウ、リュウノヒゲ、ツワブキ、フッキソウ、ヤブラン等
	(つる植物) オオイタビ、サネカズラ、ツルマサキ、ヘデラ類
1000LUX 以上	(常緑中高木) アラカシ、シラカシ、ウバメガシ、イヌツゲ、イヌマキ、ゲッケイジュ、ナギ、サカキ、サンゴジュ、シロダモ、シマトネリコ、スダジイ、タブノキ、クロガネモチ、ホルトノキ、モッコク、ヤマモモ等
	(落葉中高木) リョウブ、ピンオーク等
	(常緑低木) アセビ、クチナシ、ジンチョウゲ、ナンテン等
* 引用参考図書:「新・緑空間デザイン 技術マニュアル」特殊緑化共同研究会・誠文堂新光社	

4. 耐陰性がやや強く、ある程度の日陰地でも耐えられる樹木・植物

＜表3＞耐陰性がやや強く、ある程度の日陰地でも耐えられる樹木・植物

常緑高中木	イチイ、コウヤマキ、ラカンマキ、ソヨゴ、ネズミモチ、マサキ等
落葉高中木	ナツツバキ、ヒメシャラ、エゴノキ、ハクウンボク、モミジ類、クロモジ等
常緑低木	キャラボク、アベリア、クサツゲ、コクチナシ、コトネアスター、シャリンバイ、マルバシャリンバイ、シャクナゲ、ナワシログミ、トベラ等
落葉低木	アジサイ、ガクアジサイ、ヤマアジサイ、ノリウツギ、ニシキギ等
地被類	アジュガ、ディコンドラ、シロバナサギゴケ、セキショウ等
つる植物	ビンカ・ミノール等



・シラカシ、シマトネリコ、フイリサカキ、マホニア・コンフューサ、セイヨウイナンテン・アキシリス、ヘデラカナリエシス等



・カンツバキ、コクチナシ、フイリノアオキ、シオタクナンテン、ヘデラカナリエシス・バリエガータ、フイリヤブラン、キチジョウソウ、ツワブキ等